



2026年9月6日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,354万kW
18時30分、93,540 MW
(10エリア同時刻合計)

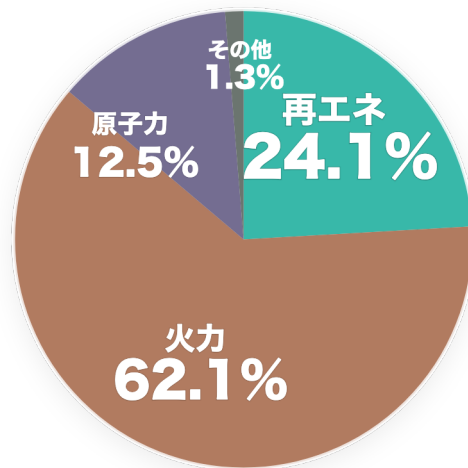
☀ 太陽光ピーク
2,034万kW
11時、20,340 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
268万kW
23時30分、2,683 MW

◇ 再エネ最大需要比
38.3%
10時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
132 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
113 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 52.8%

37.2 GWh

出力抑制量

4.2 GWh

最大: 東北 3.7 GWh

揚水・蓄電の充電

44.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:30に2,975万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで52.8%でした。
- 出力抑制は北海道、東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	24.1%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	477 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	1,978 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	38.3%	10時30分
出力抑制量	4.2 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	44.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	52.8%	37.2	0.5	送電 4.7
東北	34.0%	97.0	3.7	送電 113
東京	13.0%	64.9	0.0	受電 132
中部	28.8%	68.1	0.0	受電 50.9
北陸	35.0%	27.4	0.0	送電 18.2
関西	18.9%	53.5	0.0	受電 59.3
中国	22.8%	35.8	0.0	送電 15.8
四国	23.2%	21.6	0.0	送電 34.9
九州	28.0%	69.2	0.0	送電 34.1
沖縄	7.5%	2.0	0.0	—



2026年9月6日の供給実績

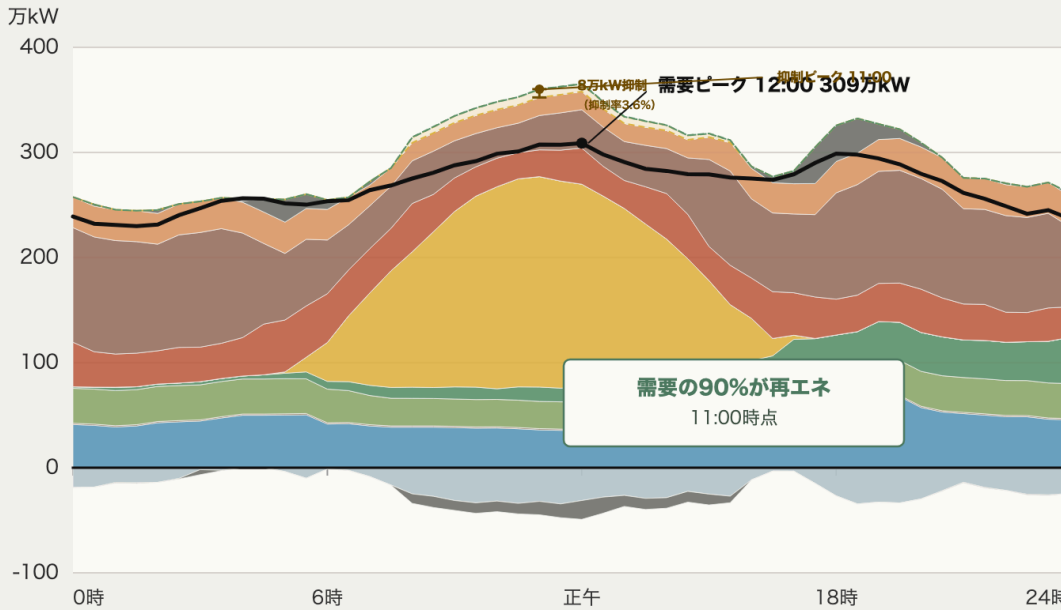
北海道エリア

再エネ

37.2GWh

(発電電力量ベース52.8%)

北海道エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 70GWh

(704万kWh)

再エネ	37.2GWh (52.8%)
太陽光	14.4GWh (20.5%)
水力	11.0GWh (15.6%)
風力	4.1GWh (5.8%)
バイオマス	7.3GWh (10.4%)
地熱	0.3GWh (0.4%)
LNG火力	8.6GWh (12.2%)
石炭火力	17.5GWh (24.8%)
石油等火力	6.0GWh (8.6%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.1GWh (1.6%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量	0.5GWh
太陽光	0.5GWh
風力	0.0GWh
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)	
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

70.4GWh

需要ピーク

12:00、309万kW

連系線・その他

4.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.5GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク200万kW、風力ピーク44万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.4%だった。



2026年9月6日の供給実績

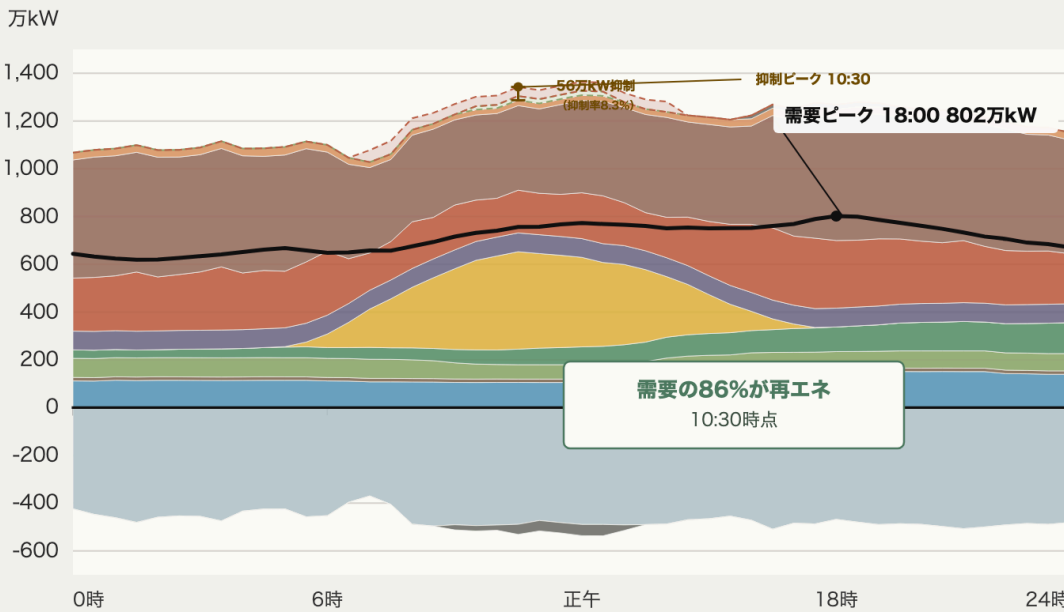
東北エリア

再エネ

97.0GWh

(発電電力量ベース34.0%)

東北エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 285GWh
(2,850万kWh)

再エネ	97.0GWh (34.0%)
太陽光	28.3GWh (9.9%)
水力	29.7GWh (10.4%)
風力	18.0GWh (6.3%)
バイオマス	17.6GWh (6.2%)
地熱	3.4GWh (1.2%)
LNG火力	54.2GWh (19.0%)
石炭火力	107.5GWh (37.7%)
石油等火力	6.8GWh (2.4%)
原子力	18.9GWh (6.6%)
揚水・蓄電	0.7GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量	3.7GWh
バイオマス	0.6GWh
火力	3.2GWh

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

285.1GWh

需要ピーク

18:00、802万kW

連系線・その他

112.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

3.7GWh

概況

東北は、太陽光ピーク408万kW、風力ピーク130万kWで、時間別の再エネ最大需要比は86.3%だった。



2026年9月6日の供給実績

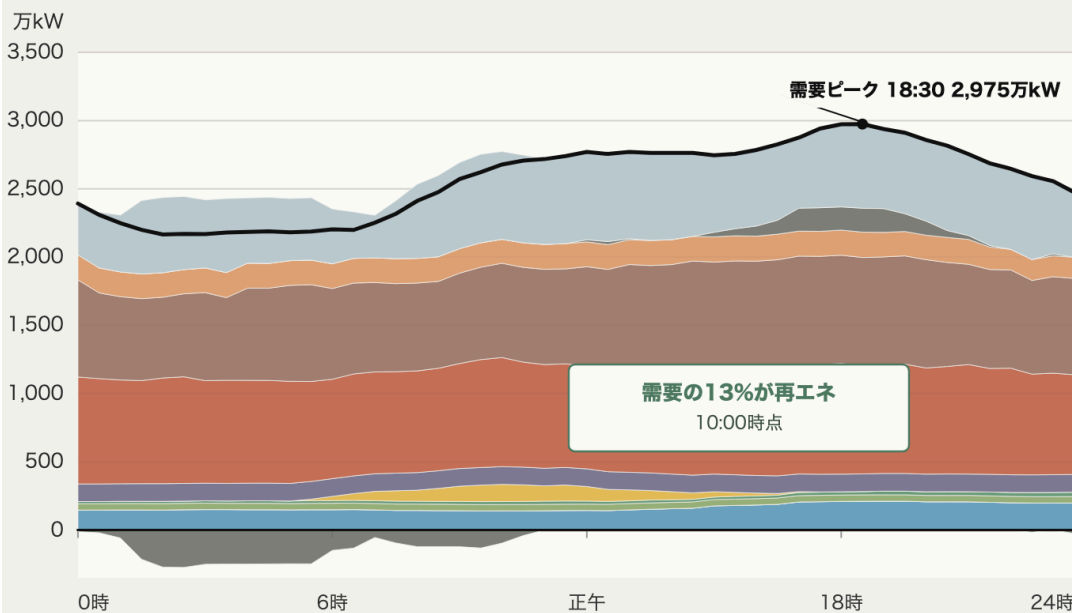
東京エリア

再エネ

64.9GWh

(発電電力量ベース13.0%)

東京エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 501GWh
(5,011万kWh)

再エネ	64.9GWh (13.0%)
太陽光	8.4GWh (1.7%)
水力	40.1GWh (8.0%)
風力	5.2GWh (1.0%)
バイオマス	11.2GWh (2.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	184.2GWh (36.8%)
石炭火力	170.4GWh (34.0%)
石油等火力	43.0GWh (8.6%)
原子力	31.0GWh (6.2%)
揚水・蓄電	7.5GWh (1.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

501.1GWh

需要ピーク

18:30、2,975kW

連系線・その他

132.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

17.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク126万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は12.6%だった。



2026年9月6日の供給実績

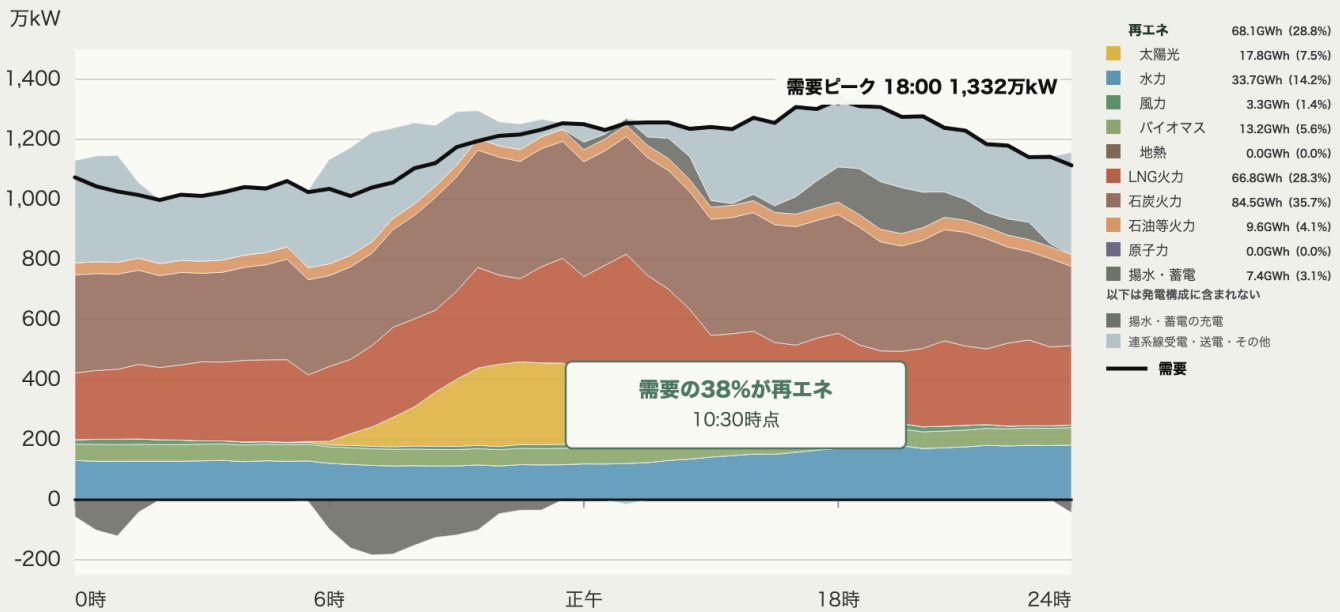
中部エリア

再エネ

68.0GWh

(発電電力量ベース28.8%)

中部エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

236.4GWh

需要ピーク

18:00、1,332万kW

連系線・その他

51.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク276万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.8%だった。



2026年9月6日の供給実績

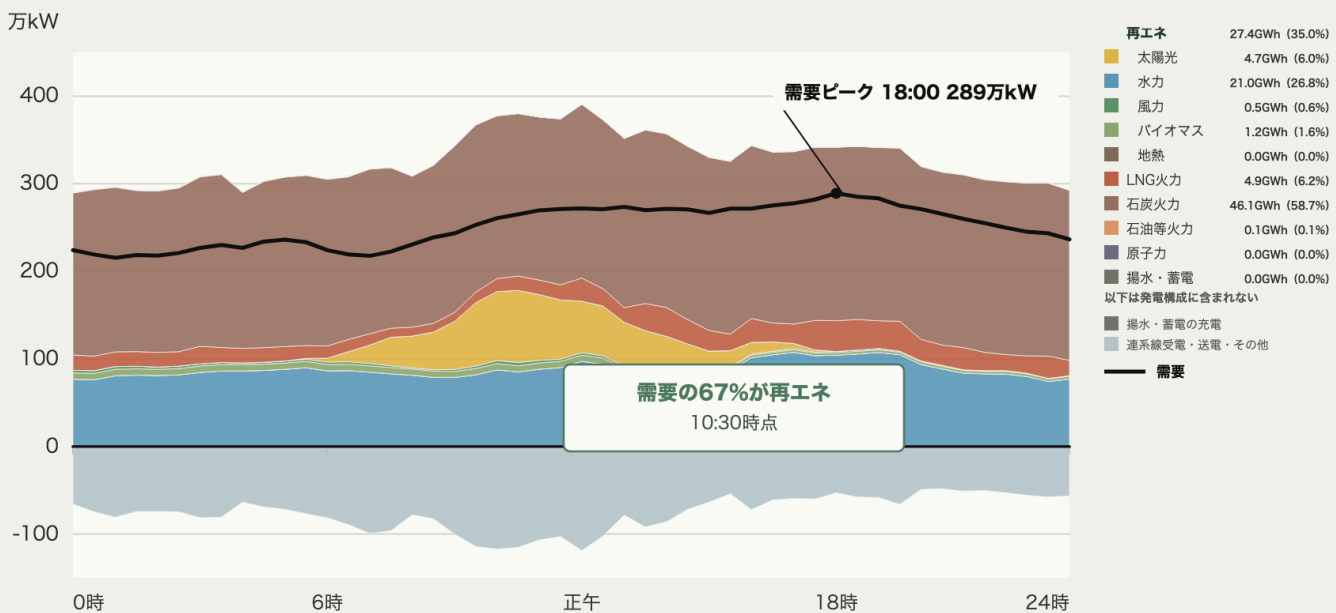
北陸エリア

再エネ

27.4GWh

(発電電力量ベース35.0%)

北陸エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

78.5GWh

需要ピーク

18:00、289万kW

連系線・その他

18.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク82万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.9%だった。



2026年9月6日の供給実績

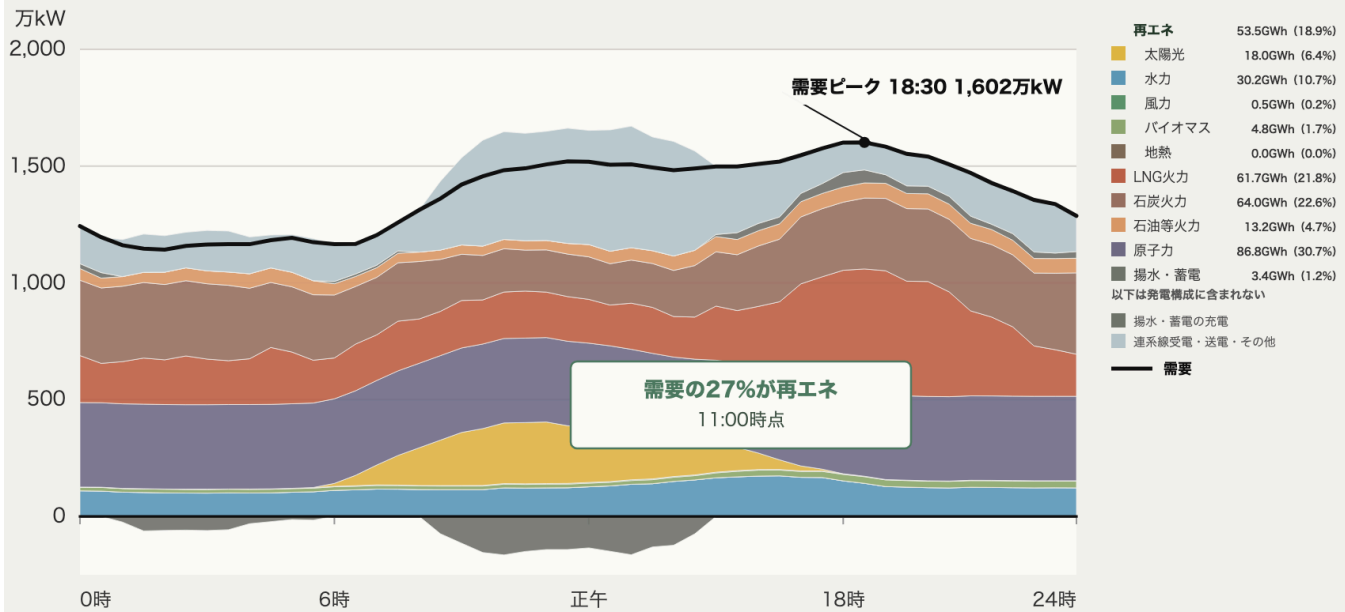
関西エリア

再エネ

53.5GWh

(発電電力量ベース18.9%)

関西エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

282.5GWh

需要ピーク

18:30、1,602万kW

連系線・その他

59.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク264万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.0%だった。



2026年9月6日の供給実績

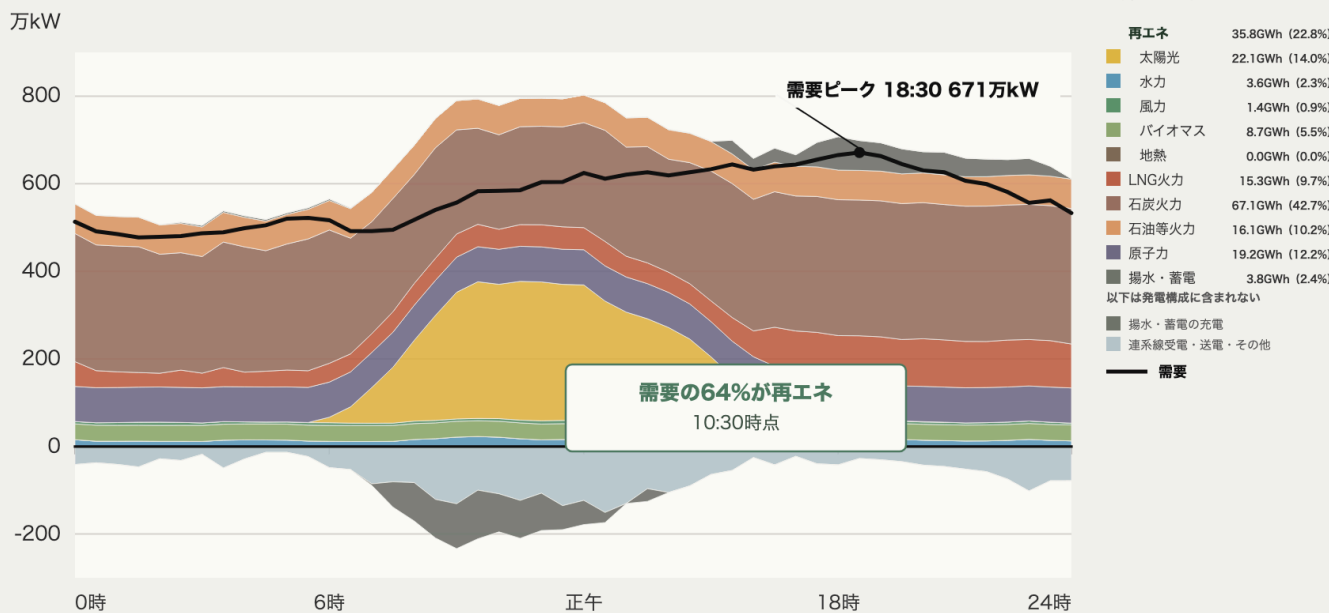
中国エリア

再エネ

35.8GWh

(発電電力量ベース22.8%)

中国エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



総発電電力量

157.3GWh

需要ピーク

18:30、671万kW

連系線・その他

15.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

4.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク317万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.6%だった。



2026年9月6日の供給実績

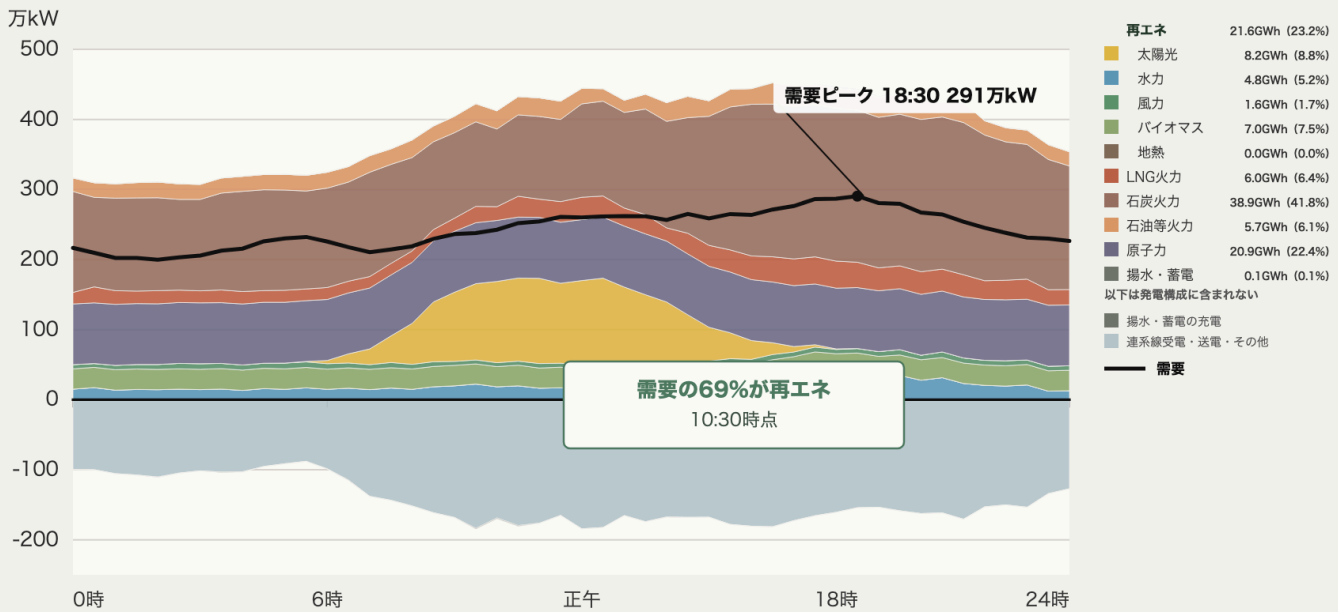
四国エリア

再エネ

21.6GWh

(発電電力量ベース23.2%)

四国エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

93.2GWh

需要ピーク

18:30、291万kW

連系線・その他

35.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク122万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は69.6%だった。



2026年9月6日の供給実績

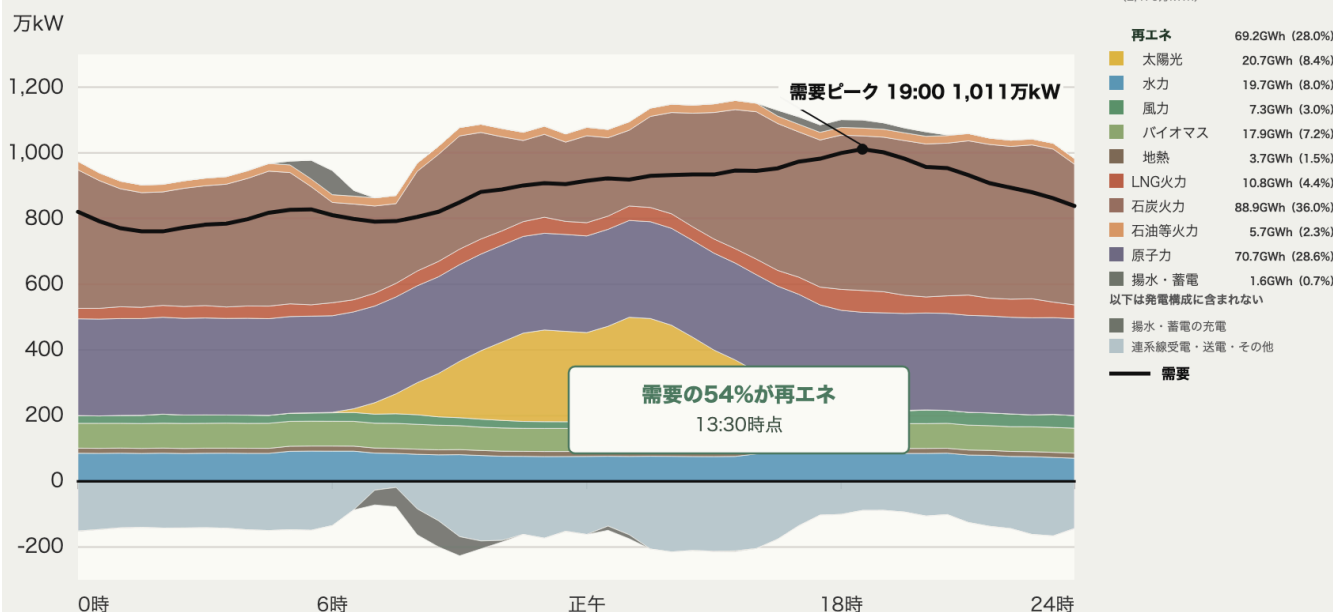
九州エリア

再エネ

69.2GWh

(発電電力量ベース28.0%)

九州エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

247.0GWh

需要ピーク

19:00、1,011万kW

連系線・その他

34.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク318万kW、風力ピーク45万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.4%だった。



2026年9月6日の供給実績

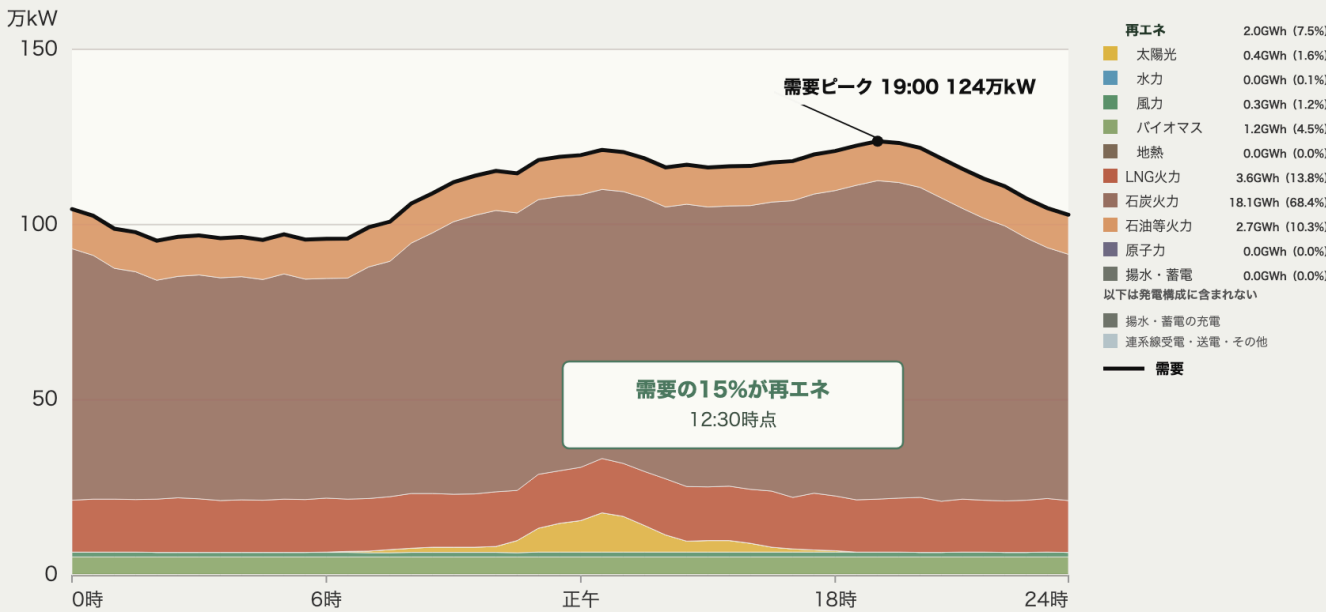
沖縄エリア

再エネ

2.0GWh

(発電電力量ベース7.5%)

沖縄エリア 2026年9月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

26.4GWh

需要ピーク

19:00、124万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク11万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は14.6%だった。